学校番号	1206

令和８年度　理科

教科	理科	科目	自己表現 （理科編 B）	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自校作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自己表現（理科編 B）は、自己表現（理科編 A）に続き、「基礎からの理科」や「科学と人間生活」で学ぶ内容の整理や復習に加えて、「地学基礎」で学ぶ内容の整理も行います。知識の整理や復習をしながら、ときには提起された問題などについて自らの見方や考えを論じたり観察や実験を行いメンバーで検証をしたりすることもあります。成績は考査や授業プリントなどの提出物も重視しますが、自らの意見を発表することを積極的に評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
演習などを通して、実際に得た知識や技能を活用する方法を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
自らの考えや解法などを、口頭、論述などいろいろな方法で表現する。
【学びに向かう力、人間性等】
知識及び技能を獲得し、思考力、判断力、表現力を身に付けようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 自然の事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得している。 観察、実験の結果の記録や整理、資料の活用の仕方を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行うことができる。 観察、実験などの結果を分析して解釈するなど、科学的に探究する過程において思考・判断・表現ができている。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりするなど、科学的に探究しようとしているかを、発言ができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	一章　人体	生命の維持 1　生命の維持に関わる人体の器官とその働き 2　消化･吸収のしくみ 3　血液循環	a:生命維持にかかわる器官の名前・位置・働きを理解できる。 b:唾液のデンプンを分解する性質を実験により考察できる。 c:人体の器官の位置を積極的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題 プリント 観察
	二章　気象	光 1　雲や霧の発生 2　前線通過と天気の変化 3　日本の天気の特徴	a:　日本周辺の各気団の位置関係を理解できている。 b:　雲の成因を説明することができる。 c:前線の通過によっておこる気象要素の変化を能動的に理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題 プリント 観察
後期	三章　物質の科学	衣料と食品 1　衣料 2　食品	a:　おもな繊維の構造，化学的な性質，用途について，具体例を通して知識を習得することができる。 b:食品中の栄養素と生体内での役割について学習し，栄養素が取りこまれる過程について理解できる。 c:学習したことを身の回りの物との関連を見出そうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題 プリント 観察
	四章　宇宙における地球	宇宙の始まりビッグバン 1　太陽の構造 2　太陽の組成 3　太陽の将来	a:宇宙誕生の過程、銀河系の構造、太陽の核融合、太陽系を構成する天体の形成過程を理解し、知識を身につけている。 b:宇宙の始まりのストーリーや銀河の様子、太陽進化などを考察し、導き出した考えを表現できる。 c:銀河系の構造について、図から私たちの住む太陽系がどのくらいの大きさかを考察しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査	課題 プリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度